

令和6年「中国遊商新年互礼会」を開催

中国遊技機商業協同組合(山本基庚理事長)では、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したことに伴い、コロナ禍の影響も少なくなったことから、令和6年1月12日、広島市内のホテルにおいて、4年ぶりに業界団体等の皆様を来賓としてお迎えし盛会のうちに終えましたこと、ひとえにご出席の皆様方のご協力の賜物であり大変感謝しております。

開宴にあたり、山本理事長から2024年令和6年は、辰年甲辰(きのえ・たつ)年であり、物事のはじまり・大きな成長の年とも言え、我々業界は店舗縮小傾向が続く中、目前に迫る「2024年問題」、一昨年が始まったスマスロ・スマパチ導入に伴う専用ユニットの設備投資に加え、今年7月には新紙幣の発行が控えており、その対応も待ち構えていることから、今こそ業界全体がラグビー日本代表のスローガン(Our team)のとおり、絆 勇気 導く を精神に様々な垣根を越え一致団結し、この精神で挑み、一步一步着実に業界の発展のために全力を尽くし頑張っていこうではありませんか。と力強い挨拶が行われた。その後、ご来賓の広島県遊協理事長延川章喜様、回胴遊商理事長大饗裕記様からご挨拶をいただき、日遊協中国・四国支部支部長長鋪昭彦様のご乾杯により宴に入り、アトラクションでは、新年に相応しい二胡音楽院院長で奏者の姜曉艶先生以下講師・生徒の皆様による華やかな二胡演奏と華麗なパフォーマンスで会場は多いに盛り上がりました。

また、ご出席いただいたご来賓の皆様をはじめ当組合員ともども久方ぶりにひとつの会場において話も弾み、所定の2時間は瞬く間に過ぎ、中締めを当組合執行部役員赤石政美理事が務め新年互礼会は無事終了しました。

「写真～理事長挨拶」



「写真～姜曉艶先生演奏と来賓の皆様」



「写真～赤石政美理事中締め」

